

# ほっと安心 ふっと嬉しい 個別的日常生活支援ガイド

所属 組 氏名 H男 策定責任者 策定年月日 平成 19 年 4 月 1 日

## 1. <起床>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・AM10:00頃になったら「おはよう」と一声掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理には起こさずに本人の目覚めを待つ。</li> <li>・オムツの確認をし、排尿が無い時は着脱後、洋式便座に座ってもらうようにする。</li> </ul>

## 2. <着脱>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛け介助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場はズボン下着用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「着替えようか」と声を掛け、着脱をし始める。</li> <li>・肌シャツ、ポロシャツ、トレーナーと一枚ずつ声を掛け、手に服を掛けると手を前に出してくれるので、腕を通し首までかける。</li> <li>・下衣は両足へ履かせ、立位にして自分で上げるよう声掛けをする。</li> <li>・座って着脱をする。発作、てんかんを持っているので、発作があった時立ったままだと危ない為。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌がる時は無理に着脱してもらうのではなく、優しく腕を持ちゆっくりとあげてもらう。</li> <li>・寒い時は一枚重ね着をする。</li> </ul>

## 3. <洗面>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けて洗面台までくることが出来る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「顔を洗うよ」と声を掛け、洗面台まで誘導する。</li> <li>・濡れタオルを使用し、優しく丁寧に拭く。(目の周り、口の周りは拭き残しが無いように気をつける)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「綺麗になったね」の声掛けをする。</li> <li>・自分から来てくれた時は「来てくれてありがとう、すごいね」の声掛けを忘れない。</li> </ul>

## 4. <食事>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小鉢小分けでスプーンを持って自分で食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーン、小鉢小分け、お盆使用。</li> <li>・大きめものは小さく刻んでおく。</li> <li>・食事量 大</li> <li>・アルカリイオン水1日1.5L</li> <li>・本人用コップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子に座ってもらい、ベルトをする。(食事中発作になることがあるので)</li> <li>・手を叩いて「いただきます」と言い食事の始まりを伝える。</li> <li>・おかずを小鉢に分けて入れる。</li> <li>・水分を多く取ってもらう。</li> <li>・食事の最後に常備薬を飲んでもらう。</li> <li>・「いただきました」と言い食事の終わりを伝える。</li> <li>・暖かいご飯でないといけないときがあるので、本人に確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の用意に入る前に「もうすぐ御飯だよ」と声をかけておくと自分から食堂近くまで来てくれるときがある。(来てくれれば「ありがとう」の声掛けを忘れない)</li> <li>・待たせてしまった時は「お待たせ」の声掛けを忘れない。</li> <li>・お茶が熱い時は水で薄める。</li> <li>・スプーンを噛んでいる時は、食べるものがないか、食べさせて欲しい時があるので見逃さない。</li> <li>・薬を飲んでもらう時には、あごを少し上げると口を開いてくれるので飲んでもらう。(嫌がる時は無理に飲ませるのではなく、「守君、守君が元気でいられるお薬だから飲んでみようか」等の声掛けをし、少し待ってみる。</li> <li>・卵、卵豆腐が好き。豆腐・肉類(ウインナー・から揚げ)・麺類</li> </ul>

## 5. <歯磨き>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助で磨く</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝てもらい、歯ブラシを歯と歯茎に当て人差し指を口の横から入れ、左右に優しく磨く。</li> <li>・一分以上磨く。</li> <li>・口の中に食べかすが溜まりやすいので、水をしっかり飲んでもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あごに優しく触れ、口を開けてもらう。</li> <li>・歯磨き後、「よく磨けたね」の声掛けを忘れない。</li> <li>・多少歯茎からの出血が見られるが、丁寧に磨くことを常に心掛ける。</li> </ul>

## 6. <排泄>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・排尿は前立て</li> <li>・排便は洋式トイレ使用</li> <li>・定時排泄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間は紙オムツ、尿取りパットを使用。(個人物)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排尿したい時はズボンを下ろしたり、陰部を触っている時が多いので見逃さないようにする。</li> <li>・三日以上排便がない時は浣腸にて排便を促す。</li> <li>・浣腸後洋式トイレに座る時、排尿があるかもしれないのでアダルパ - を一枚挟む。</li> <li>・食後排便がある時が多いので、必ず洋式トイレに座ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来てくれた時は「ありがとう」の声掛けをする。</li> <li>・排尿時は側について軽い声掛け(「でるよー」など)や口笛、または水を出しておくで排尿がしやすい。</li> <li>・排尿、排便があった後は「すっきりしたね」等の声掛けをする。</li> </ul>

#### 7.<入浴>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助で洗う</li> <li>・介助で浴槽に出入りできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護椅子(大)を使用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前から手を持ち、段差に気をつけて浴室に誘導。</li> <li>・介護椅子に座ってもらう。</li> <li>・手を持って浴槽に誘導。片足ずつゆっくり入ってもらう。</li> <li>・発作があるので、目を離さない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑りやすいのでゆっくり誘導。</li> <li>・発作に気をつける。</li> <li>・歩行中にすべったり、バランスを崩し、転倒することが多い為職員は何時倒れてもよいようにしっかり支えながら歩行する。</li> </ul>

#### 8.<就寝・夜間>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枕、防水シーツ使用</li> <li>・イオン毛布使用。(個人物) 但し電気毛布使用時はイオン毛布は使用しないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「そろそろ寝ようか」と誘い、大部屋に誘導する。</li> <li>・布団に誘導したら、横になってもらい肩まで布団をかける。</li> <li>・夜起きて来た時は、もう一度布団に誘ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団からはみ出している時があるので、布団を掛け直す。</li> <li>・その日の状態で寝つけない時があるので、添い寝をしたり、話をしたりして様子を見る。</li> <li>・フロア - に寝たいようならフロア - に布団を敷く。</li> </ul>

#### 9.<爪切り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面介助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけして爪を切ることを本人に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切られるのは好きではないため、切れた後には「すごいね。ありがとう」の声掛けを忘れない。</li> </ul>

#### 10.<耳そうじ>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面介助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうじをすることを本人に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人は嫌なようなので無理には行なわない。</li> <li>・母は歌を歌いながらすると良いとのこと(大きなくりの木下で)</li> </ul>

#### 11.<ひげ剃り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面介助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けで身を任せてくれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上手にそれたことを誉めることを忘れない。</li> </ul>

#### 12.<移動>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容

<p>〔室内〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お心によって波があり、気分が良い時等は自分から立って移動できる。(不安定な時は本人言語化して座ってもらうこともある)</li> <li>・気分が良くない時は、立つこともできず、車椅子使用。</li> </ul>	<p>屋内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内、屋外共に自分で移動可能。</li> <li>・ぐったりしているときには、本人と相談して車椅子を使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に移動できる時は、左右どちらかの脇の下に手を支えながら移動する。また後ろから本人の脇に腕を入れて支える方法もある。(ぐったりしている時)</li> <li>・本人にこれから〇〇するけどどうする?と聞く。手を差し出すと、YESならてを出してくれ、NOなら動かない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動したくない時は、体を踏ん張ったり動こうとしないので、無理に移動しない。</li> <li>・後ろから支えている時本人急に力を抜くことがあるので、職員は腰を痛めない様、またバランスを崩さないよう気をつける。(ぐったりしている時)</li> </ul>
	<p>屋外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人に聞いて車椅子を使用。(必ず言語化する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子に乗ってもらい、段差がある時には必ず声を掛けてから前輪を上げる。(ぐったりしている時)</li> <li>・同上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下の方にズルズルと落ちてくることがあるので、足が下につかないように気をつける。</li> </ul>

13. <健康>

<p>一般的な健康状態(体力、疲れ易さ、風邪のひき易さ等)</p>	<p>てんかんの状況と対応 (発作の有無・服薬の内容・原因と思われること・発作の状況や対応)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出、帰省、面会、行事等の後、本人疲れてしまうようで横になってしまうことが多い。</li> </ul>	<p>発作 有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天候、精神的なもので発作になることがある。発作時、転倒することがあるので十分注意する。</li> <li>・全身痙攣を伴う大発作、一日に何度も発作が続くようならルピアルを使用する。</li> <li>・発作になる前には歯ぐきを出してニヤニヤすることが多い。</li> </ul>
<p>風邪・発熱時の状況と対応 (症状のおよその傾向と対応・静養の仕方・食事への配慮・検温の仕方等)</p>	<p>内科的疾患(腹痛・下痢・便秘等の状況と対応)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 係わりについて</li> <li>・足のふらつきが著しい時は、転倒に十分注意する。静養できるまで側で添い寝をする等の配慮が大切。</li> <li>● 静養の仕方</li> <li>・体がだるい時は自分から横になるので、居室に布団を敷き静養できる環境を整える。</li> <li>● 排泄について</li> <li>・静養中は紙オムツ使用。</li> <li>● 食事への配慮</li> <li>・食欲が落ちた場合は、本人の好きな麺類、エビフライ、肉類、豆腐、卵豆腐、生卵を用意する。食べられない時は、カロリーメイトで栄養補給してもらう。水分はしっかり摂るよう心掛ける。</li> <li>● 検温の仕方</li> <li>・本人を寝かせて脇の下に体温計を挟んで、測定できるまで職員が腕を押さえる。</li> <li>・発熱時にはボルタレン 50mg 使用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 腹痛</li> <li>・特になし</li> <li>● 下痢</li> <li>・特になし</li> <li>● 便秘</li> <li>・慢性的に便秘になりやすい。下剤を服用している</li> <li>● その他</li> <li>・抗てんかん薬の副作用により、腸閉塞(イレウス)になったことがある。</li> </ul>
<p>皮膚科的疾患(水虫・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹等の状況と対応)</p>	<p>その他の疾患(耳鼻咽喉科・眼科等の状況と対応について)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・にきびができてやすく、ほっておくとひどくはれる。にきびができた時にひどくなる前に専用の薬をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性副鼻腔炎を持っている。風邪をひいた時にはなりやすいため、鼻水がひどい時には通院をする。</li> </ul>
<p>視力・聴力</p>	<p>内服薬の服用方法</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 服薬について</li> <li>・錠剤、粉薬共に服用可能。</li> </ul>

外用薬等の使用方法	本人の異常（発熱・頭痛・腹痛・歯痛）の訴え
<ul style="list-style-type: none"> <li>外傷</li> <li>絆創膏、包帯可能。</li> <li>陰部に傷ができた時はベルト付きのズボンをはいてもらい消毒をこまめに行う。</li> <li>にきびがしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人からの訴えはわかりにくい</li> <li>体調が悪い時にはぐったりしている。</li> </ul>

14. 通院の状況

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
・職員がついて通院する。	・通院すること、内容を事前に本人に話しておく。	・通院後はしっかりと誉める。 ・家庭にもTELする。

15. 身の回り品等の整理整頓

整理整頓の状況	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分では出来ない。</li> <li>職員が整理整頓する。</li> </ul>	・本人に話してから行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>きれいになった事など本人と確認していく。</li> <li>イオン毛布があるので、取り扱いには十分注意する。</li> </ul>

16. 金銭管理と使用

管理と使用の状況	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>担任が全て管理。</li> <li>1ヶ月に5千円のおこずかい。</li> </ul>	・写真カードを使用し、本人と使い道について相談して決める。	

17. 電話

掛けている状況	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が電話に出て、職員が代弁する。</li> <li>電話は職員がかける。</li> <li>毎週金曜日、母より定期的なTELがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金曜日に母からTELがかかってくるが、たまに忘れていた事があるので、こちらからTELする。</li> <li>本人、金曜日は母からのTELと分かっているので、何を話すか本人と相談して決めておく。</li> </ul>	・TEL後、本人と内容について話す。

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日